長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等	「高校生のためのペン字レッスン帳」　（教育図書）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅱでは臨書から創作に、また新しく文字の立体表現、刻字を学びましょう。
・仮名の復習から入り、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２ 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	仮名の学習	基本用筆の復習 ・いろは単体 ・二文字連綿 ・三文字連綿 ・変体仮名 ・蓬莱切 ・散らし書き	○	○	○	○	a.「書道Ⅰ」３学期で学んだ仮名の学習を発展させて、墨の潤渇・連綿の美しさを理解している。 b:変体仮名の成り立ち、役割を理解している。 c:古典の鑑賞を通して、日本特有の美である仮名の書の美しさ、料紙との調和を感じている。 d:古典を臨書することで、先人たちの仮名を愛する心を推し量る。 d:変体仮名を用い、積極的に表現技法を高めようとしている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
5 6	仮名(ひらがな)から漢字かな交じりの書へ	・淡墨によるひらがな連綿 ・漢字仮名交じりの書(ひらがなの連綿と漢字による表現)	○	○	○	○	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:一番省略された用筆法や単純化された平仮名の筆使いについて理解し、表現を工夫している。 c:平仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 d:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
6 7	漢字の書(五書体の学習から１文字作品制作へ) 表具	・五書体の学習 ・正式書体と略式書体 ・漢字一文字作品制作 ・漢字一文字作品表具 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:五書体（楷書・行書・草書・隷書・篆書）の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:文字の成り立ちに興味を持ち、代表的な五書体の古典を知り、そのよさや美しさを味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
8	漢字の書(硬筆)	・楷書と行書 (夏期休業中の課題としても扱う。)	○	○	○	○	a:国語科書写の基礎的な能力を身に付け、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:国語科書写で身に付けた基礎的な能力を生かして表現を工夫している。 c:国語科書写で身に付けた基礎的な技能を生かして表現している。 d:日常生活の硬筆の書の効用につい	観察 提出作品

							て理解し、そのよさを味わっている。	
9 10 11	篆刻 （四分姓名印づくり） 刻字の学習 （セラミックボード）	・自分の名前調べ （各書体） ・名前の1文字白文印の制作 好きな一文字を選び、書を立体で表現	○	○	○		a:名前の各書体調べを通じて書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫している。 a:好きな文字を選び、好きな書体・書風を考え、落款との調和を工夫し、表現する喜びを感じている。 b:文字を平面から立体にする喜びを感じている。 c:初めての彩色の楽しさを感じている。	観察 レポート ワークシート 提出作品
12	生活の中の書	・年賀状 ・ペン字 （冬期休業中の課題）	○	○			a:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 b:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
1 2 3	色紙作品を作ろう 自分の作品について語り他人の作品を味わおう （作品発表）	・色紙作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作後色紙への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	○	○	○	○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 レポート ワークシート 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。